

●物流センターに関する自治会の連絡会(第7回)が開かれました。

東洋一と言われる新川耕地東の物流センターと「良い隣人同士」となれるよう、可能な限り情報を共有し合うことを目的とした「情報連絡会」が、6月に引き続き、11月27日(土)10時~12時、近隣15自治会、海老原・森両市議会議員、流山市コミュニティ課、および事業を展開する大和ハウス工業(株)(DPL)と日本GLP(株)(GLP)2社が参加して、北部公民館で開かれました。



まず、まちづくり協議会から6月以降の物流センターの変化について動画を交えた紹介があり、引き続き、DPL、GLP側がそれぞれ6月以降の行動について説明をしました。

DPLの説明では、6月に宿題として残された諸問題(従業員数や運行トラック台数予測、トラックの一時待機状況、横断歩道問題、調整池の役割、地域との交流、通勤バスの一般への開放、一時避難所としての利用法、物流におけるセンターの役割、駐車場の利用状況)について丁寧な説明があり、それぞれの状況について相互理解が深まりました。ただ、例えば、一時待機しているトラックの中には、県道を野田方面に向かうトラックが一時停車しているケースなどもあり、その対応には事業者、地域住民が協力して市や県に働きかけを行う必要があるものがありました。GLPの説明では、交通問題や一時避難所利用の報告の他に、社の方針とする「地域との交流」(施設の開放、イベントの開催など)についての説明があり、近隣の自治会からそうした方針を歓迎する発言がありました。その後質疑応答を経て閉会。

会合後、参加自治会のほとんどが会合の内容に満足の意を表し、令和4年度も年2回開催を望みました。協議会としても、来年度も今回のような形で会合が開けるよう作業を進めるつもりですが、会長が一年ごとに交代する自治会内で本件のスムーズな引継ぎが期待できるよう、何らかのお手伝いを進める予定です。

●物流センター新設館の見学会が進んでいます。

10月16日、GLP8号棟の見学会が開かれ、近隣自治会の代表者など20名参加しました。顔認証のゲートを通った業務エリア内の各種施設や、一般も利用可能な「ワークスペース」、「カフェテリア」など、地域交流を意識した最先端の物流施設が紹介されました。

12月7日には、DPLの新設棟、DPLIVの見学会が開催されます。

新川まちづくり協議会関連資料や「新川まちづくり通信」1~70号をご覧になりたい方、あるいは、協議会参加に興味のある方などは、事務局までご連絡下さい。

事務局 狼(おおかみ) 正久

住所 〒270-0103 流山市美原 4-215

電話 090-8740-5675 メール masa-yama9@eco.ocn.ne.jp